



独立行政法人

国立病院機構盛岡医療センター

地域医療連携室だより



No. 39

(令和5年10月発行)

盛岡医療センター小児科の近況

副院長 佐々木 美香



地域の先生方におかれましては、日頃より大変お世話になっております。猛暑が過ぎあつという間に暖房の季節に変わりました。毎年繰り返される季節の変化ですが、近年はその振り幅が大きくなっているように感じます。11月からは当院の桜木の電飾が例年通り点灯します。お近くをお通りの際は是非ご覧になってください。

新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）も落ち着きを見せ、「夏のコロナウイルス、冬のインフルエンザ」というような感染の流行形態がおぼろげながら見えてきました。思えばコロナに振り回された3年でしたが、市販の迅速抗原検査キットや各医療機関での抗原定量やPCR検査、短期間で量産できるRNAワクチン（ノーベル賞受賞）、コロナウイルス治療薬など、この期間に医療が急速に進歩したことは紛れもない事実でしょう。

当院でも今年は、7月13日にコロナで中止していた地域医療懇談会を4年ぶりに開催させていただきました。会場のホテルメトロポリタンには多くの先生方に参加していただき、感謝申し上げます。大変有意義な会となりface to faceでの会話がはずみ、あつという間の楽しい時間でした。

さて、今回は私の専門、小児科の近況報告です。

① 4月から増本佳泰（よしひろ）医師が着任し、小児科専門医の3人体制となりました。前職の静岡こども病院では免疫アレルギー科で研鑽を積み、当院ではアレルギーだけでなく救急疾患についても診療に携わっています。今まで日中の入院患者様の受け入れが困難でしたが、今後は早急に対応させていただきますので、必要時にはご連絡をいただければと思います。また原因鑑別のための精査が必要な場合やMRIやCT、脳波などの鎮静が必要な検査においてもできるだけ早く検査ができるよう心掛けておりますので、お電話いただければ幸いです。

加えて4月から内科医として就職した高橋信医師は、当院では内科疾患を担当していますが、元々小児循環器医から循環器内科に異動した方で大学病院では小児から成人の循環器診療に長く携わっていました。小児の心エコーや心臓手術の術後管理や重篤な急性期患者を診てきましたので、科を超えて相談ができ我々小児科にとって心強い存在となっております。

(次ページへ続く)

- 病院理念● 生命を尊重し、地域の人々に安心・信頼される医療を提供する
- 基本方針●
 - ①安心・安全な医療を提供します。
 - ②病病連携・病診連携を通して地域医療に貢献します。
 - ③専門的な知識と技術、倫理観を備えた職員を育成します。
 - ④職員は互いに尊重・補完しあい、協働し良質な医療を提供します。
 - ⑤信頼される医療を提供するための経営の健全化を図ります。

② 食物アレルギーの負荷試験は入院約300名、外来380名と東北では入院は2番目に、外来では最多の検査数となっています。乳児期から食事指導を介入した方が早く安全に摂取が可能になっていきますので、できるだけ早くご紹介していただければと思っています。

小児のダニ及びスギに対する舌下免疫療法を、2022年度では約340人の患者数です。いわゆる体質改善に位置づけられる方法ですので、小児期に是非受けていただきたい治療です。しかし、開始初めには喘息などの重篤な症状が出現することもありますので、当院では始める際は小児に慣れた薬剤師の指導と、24時間体制で医師に相談ができる体制を整えています。

小児のアトピー性皮膚炎は重症な患者さんを紹介されることが多く、入院でスキンケアの指導を行っています。乳幼児には日帰りでお母さんたちに、学童期以降には1週間（長期休み）をめぐりに本人へ指導しています。子どもたちにはYouTubeやゲームの時間を制限したり、宿題や読書させたりして過ごさせます。退院後は良好な皮膚の状態を保つことが多く、ガイドラインでの入院スキンケアの推奨に納得がいきます。

最後に

最近、ニューヨークタイムズの記事に刺激され、肴町を散歩しています。プラザおでっの産直コーナーをのぞいて見たら、近隣からの食材が所狭しと並んでいました。今年は不作といわれていた松茸や、どうやって食べるのか分からないキノコも何種類もありました。曲がったキュウリ、形の悪いピーマン、菊の花、何やら見たことのない種類の大根、巨大なズッキーニ、茹で食用の落花生、天然舞茸などを買って1000円弱。今更に岩手の食材の豊かさに驚かされ、幸せを感じます。今年は、天候の影響で食物の生育が悪いとのこと。熊の人的被害が今年は多く、熊からすればそれだけ森の恵みが少なく死活問題なのでしょう。痩せています。国外に目を向けると、温暖化で雨の少ない国では落雷により多発発火が起き森が焼けています。温暖化どころか地球沸騰化という言葉まで出てきました。国の事情は知りませんが、戦争なんかしている場合ではないのでは。熊災害のある森で色々なキノコを採取している皆さんに感謝です。くれぐれも気を付けていただきたいものです。

第7回地域医療懇談会を4年ぶりに開催!!

管理課長 斉藤 晃

令和5年7月13日(木)に、メトロポリタン盛岡NEW WINGを会場に第7回地域医療懇談会を4年ぶりに開催しました。地域医療の連携強化を目的に、地域の先生方23名及び、当院スタッフ47名が参加しました。

木村院長の挨拶で始まり、「連携室と周辺医療機関との4年間」というテーマで千葉地域医療連携係長が講演を行いました。この4年間における当院の変化や地域医療機関からの紹介状況、COVID-19の対応状況や当院連携室のメンバー紹介をさせていただきました。

また、診療強化されました神経内科の村田医師、循環器内科の肥田医師より講演をしていただきました。神経内科からは、入院・外来患者の推移の紹介と、対象となる主な疾患の紹介や、臨床診断におけるアドバイスと確定診断のための当診療科へのご紹介について講演していただきました。循環器内科からは、当院で実施している各種検査の説明と、実際の症例を紹介していただきました。講演会では、データを見てあらためて分かることや、今後に期待すること等についてご意見をいただくことができました。

その後、会場を移し意見交換会を行いました。くどう医院の工藤卓次先生の挨拶と乾杯のご発声で始まりました。飲食を伴うことから、最初は控えめだった参加者も、歓談が進むにつれて和やかな雰囲気が会場全体に溢れて、当院に対する期待と同時に、着実に連携の輪の広がりを感じることができた時間となりました。

また、当院のNEWFACE医師、只左内科医師、高橋内科医師、増本小児科医師の自己紹介をさせていただきました。最後に千葉副院長の御礼の挨拶で閉会となりました。

今後、病院の発展のためには、地域のクリニックの先生方との「顔の見える関係」づくりが重要であり、双方で支え合っていくことの大切さを実感した懇談会でした。4年ぶりの開催で、不安がありましたでしたが盛会裡に終えることができました。

ご参加された皆様お疲れ様でした。

(次頁に写真を掲載します。)

第7回地域医療懇談会 風景



司会は猿子MSW



木村院長 開会挨拶



千葉地域医療連携係長 講演



地域医療連携室スタッフ紹介



村田神経内科医長 講演



講演会の様子



肥田循環器内科医長 講演



くどう医院 工藤先生（盛岡市医師会副会長）
による乾杯挨拶



只左内科医長



高橋内科医長



増本小児科医師



千葉副院長 閉会挨拶

第7回 地域医療懇談会の様子については、
下記の URL または、左記の QRコード より
You Tube 動画をご覧ください。

<https://youtu.be/qW0Dz1uVzVI>



国立病院機構盛岡医療センター 診療担当医一覧表

令和5年6月5日現在

【外来診療受付時間】 月～金曜日：8:30～11:00（急患については随時対応）

【電話による予約受付時間】 月～金曜日：13:00～17:00 **専用電話：019-645-4564**

※令和5年6月5日より予約受付時間に変更となりました。

診察ご希望の方は、下記の曜日、時間等をご確認の上、ご予約ください。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
呼吸器内科／ 一般内科	午前	新患・再来	高原政利	木村啓二	高原政利	山田博之	☆東北大学 呼吸器内科医師
				高橋 信	高橋 信		
	午後	新患・再来 (急患のみ)	山田博之	只左一也	只左一也	木村啓二	
			高原政利	山田博之	只左一也	肥田親彦	
循環器内科	午前	新患・再来	肥田親彦	—	—	肥田親彦	☆東北大学 循環器内科医師
	午後	新患・再来	—	—	—	—	【ペースメーカー外来】 肥田親彦 (第2・4週、14:00～15:00)
糖尿病内科	午前	新患・再来	—	—	☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師	—	—
	午後			☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師 (第2・4週)	—		
消化器内科	午前	新患・再来	☆工藤典重	☆穴倉かおり	—	—	☆仙台医療センター 消化器内科医師 (第2・4週)
神経内科	午後	新患・再来	—	小原智子	—	村田隆彦	—
リウマチ科	午前	新患・再来	千葉実行	千葉実行	千葉実行 ☆岩手医科大学 リウマチ内科医師	—	千葉実行 (最終週は休診)

※呼吸器内科・一般内科の午後外来は、新患・再来・予約外の急患について午後1時30分～3時30分の時間で診療を行います。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
整形外科	午前	新患・再来	大山素彦	大山素彦 (第2週は再来のみ)	【脊椎外来】 大山素彦 (紹介予約制) 午前9時～11時	本田剛久	本田剛久 (第1・2・3・5週)
			本田剛久	本田剛久 (第1・3・4・5週)			☆大竹高行

※整形外科の第2火曜日、第4金曜日は再来のみの受付になります。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
小児科 (消化器・アレルギー) 予約制	午前	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	—	—
	午後	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	—	—
	佐々木朋子	増本佳泰					

※小児科は消化器・アレルギー等の専門外来になります。

〔☆〕は、非常勤の先生です。

独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター

岩手県盛岡市青山一丁目25番1号

病院代表 TEL 019-647-2195

FAX 019-646-1195

<https://morioka.hosp.go.jp/profession/index.html>

